

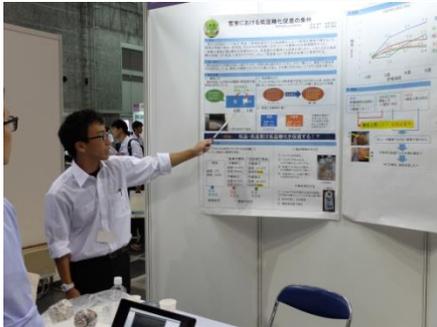
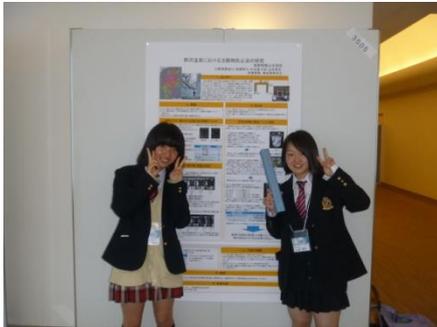
スーパーサイエンスハイスクールとは

- 未来を担う科学技術系人材を育てることをねらいとして、理数系教育の充実を図る取組です。文部科学省が指定します。平成27年度は全国で203校が指定を受けています。
- 「科学への夢」「科学を楽しむ心」をはぐくみ、生徒の個性と能力を一層のばしていくことをめざしています。
- 大学や研究機関等とも連携して魅力的なカリキュラム開発を行っています
- 研究指定校では、次のような取組を実施しています。
 - ・体験的学習、課題研究の推進
 - ※課題研究:自ら課題を設定し、観察・実験などを通して解決を図り、その成果を発表するなど、一連の研究の過程を経験し、科学的、数学的に探究する能力と態度を養う。
 - ・科学技術、理科・数学に重点を置いたカリキュラムの開発・実施
 - ・国際性を育てるために必要な英語力の強化
 - ・創造性、独創性を高める指導方法の研究、教材の開発
 - ・科学技術コンテスト等への参加
 - ・高大連携
 - ・研究成果の評価への取組
- 研究推進のため潤沢な予算措置があり、施設・設備が整備されます。

本校SSHの取組

1 地域素材を活かした課題研究や探究活動を充実させる。

→ 探究科の「探究実践」、普通科の「SS2」、スポーツ科学科の「スポーツ総合演習」で課題研究を実施しています。全国コンテストで、「雪室における低温糖化の促進条件」「野沢温泉における沈殿物防止法の研究」という、地域課題をテーマにした研究の発表をしました。

	
自然観察フィールドワーク	SSH 生徒研究発表会
	
東京大学で地域学習	地球惑星連合大会 優秀賞

2 大学や研究機関等との連携を推進する。

→ 新潟薬科大学、信州大学などとの連携により、実験・実習や特別講義を行う。

	
<p>サイエンスツアー</p>	<p>信州大学でのグループワーク</p>
	
<p>SSH講演会(新潟薬科大学 石黒教授)</p>	<p>十日町里山科学館実習</p>

3 英語を使って発表・交流活動を実施する。

→ 探究科の学校設定科目「探究発展」では、課題研究の英訳発表を行います。また、海外研修で、外国の高校生を前に英語でプレゼンテーションを目指した取組を行います。

	
<p>ロボット共同製作 (ハワイ ワイヤケア高校にて)</p>	<p>プレゼンテーション (ハワイ大学にて)</p>

4 地域に根ざし、小中高連携による教育実践を推進する。

→ 英語と数学で小中高連携のカリキュラムを製作しています。小中学生対象の「わくわくサイエンス教室」「高校生チューター」という学習会の活動を行っています。また、自然科学部の活動も支援しています。

	
<p>わくわくサイエンス教室</p>	<p>自然科学部による全国大会発表</p>

SSH全校生徒アンケート結果(平成27年3月実施)

- ・科学への興味・関心が高まった ... 75%
- ・仲間とともに学習を深めることの大切さが理解できた。 ... 68%
- ・学びを身近な生活に活かそうという意欲がわいた。 ... 76%
- ・理科や数学の理論や原理に対する興味があわいた ... 71%